



えるとき、もう一步私達は努力しなければと思うのです。勿論昨年は、毎月学級友友会が開かれ、形だけなりとも話し合いの場がもたれました。今年には新しく学級部も設けられ、これを機会に出来るだけ多くの人が参加し、あらたまったことではなく、ふだんの心で口をきき、話をきくという気

### 教養部

教養部の年間事業計画  
一、会員研修旅行  
六月四日午前六時五〇分  
午後六時

○会費七〇〇円(昼食込)

○人員一三〇名  
○武雄小学校(育友会活動が盛んな学校)

○陶器の町 有田見学  
○育友会文庫の年間閲覧実施  
○巡回文庫 六月十日八月

○会員各位の御利用を御願ひ  
○御感想或いは、巡回文庫に就いて、御意見御希望

がありましたら、教養部(本多先生)又は広報部迄御一報下さい。

講演会  
日曜両親参観日に、会員の

教養を高める「家庭教育の在り方」の何れかをテーマとした講演会を実施します

ので、より多く御出席下さい。

一、各種研究会講演会への参加  
二、部会 年四回実施  
三、各種会合の出席率の向上と

時間厳守  
何時も話題になりながら、ついついルールになるのですが、

持で、同じ学級の親どうして、親と先生がともに、子供の生活に即した問題、教育問題、健康安全にと本首を出して話し合い考え合ひ、勉強し合つて学習活動の土台がつけられたらと思ひます。

「みんなで守ろう子どもの安全」交通安全  
交通安全事故の皆無を期する交通安全運動に協力する子どもたちの登校時における交通安全指導  
この目標達成の為に三十一名の交通部長と先生方のご協力を得て、交通安全確保の為に全力をあげて活動していきたいと考えています。

「子どもの痛ましい事故が相ついでている事が書かれ、子どもは好奇心が強い。その好奇心は時として危険に対する警戒心に打ち勝つてしまふ。しかも、ちょっとした間違えれば命を失うかも知れないという危険の恐ろしさはまだほんとうに子どもに理解できていない。」と警告し、又育友会書で有名なスゴック博士は次のように書いています。「私は自分の人生を子どもたちが社会に適應ししあわせになるためにどのよう

に育てあげべきかを研究し、そのための助言を与えることには努力が無益なように思われる。それは混乱しきつていて、社会が幼い子どもたちに容赦のない攻撃をかけてきているからだ。」という博士のことばと最後に「子どもを取りまく危険いっぱい社会から子どもを安全に保護し、そのすこやかな成長に助けやれるのはおとなの社会の重大な共同責任である。」とべられてゐる。

たいものです。どうか部員一同を励まして下さる意味において、心の中にも下されたかご協力をお願い申し上げます。尚毎月十五日発行の「交通安全」は、お子さまとの話し合いの場に取り上げていただき、家族ぐるみで交通安全にご協力くださいますようお願い申し上げます。

## 育友会専門部紹介

また取材活動を重点的に置き、各員それぞれ各部に分担、全力取材活動して行きます。原稿依頼の際は、大変御多忙と承知しておりますが、「がんば」のため時間をさいて多く寄稿戴きます。年度年間事業計画として、発行回数五回を予定し、ここに一回目を発行することになりました。会報の性格上、堅苦しい内容となりがち、原稿を努めて柔らかく、寄稿の際、原稿を引く「がんば」の御支援と御協力をお願いいたします。

生活部の活動は、「日常生活の中にある」という考えのもと、校外指導、健康安全、少年団の育成等、前年度までの活動を継承して、具体的な活動を重点を一つにして実践しようとする。以下のような計画を話し合いました。

- 生活指導研究会 六月
- 球技大会 七月二十五日
- 水泳大会 八月十日
- 生活部会 九月上旬
- 生活指導研究会 十月下旬
- 生活指導研究会 十一月下旬
- 生活部会(生活指導研究会) 十二月十日
- 生活部会(反省会) 三月中旬

### 広報部

学校および、家庭における教育の理解と、その振興の趣旨をもつ、会の使命を広く、「がんば」にて発行するにあたり、本年度年間事業計画として、発行回数五回を予定し、ここに一回目を発行することになりました。会報の性格上、堅苦しい内容となりがち、原稿を努めて柔らかく、寄稿の際、原稿を引く「がんば」の御支援と御協力をお願いいたします。

山港湾線など主要道路に囲まれたその危険な場所を毎日子どもたちは登校して行くわけですが、そこで今年には交通部長と先生方だけでなく各町内の方々にも呼びかけ育友会全員による交通補助隊が組織される予定です。

環境部長を仰せ付かりあまりの重責に戸惑つて居る次第です。環境部は子供のすこやかな成長のため周囲の環境を整備しより健全な場所を作ることが目的であります。

一口に「環境整備」といって、物的な面と情操を育てる面と二つがあるかと思ひますが、これは一年間ですべてが完備できるものでなく長い時間と根気を要し段階的に進めていかなければなりません。

「がんば」、実のある「がんば」、親しまれる「がんば」にしたいと部員一同張り切っています。

「がんば」が、一層発展することと思ひます。また各学級活動、アイデアに富んだ意見感想がありましたら「がんば」の箱を御利用下さい。会員皆さんの御支援と御協力をお願いいたします。

市より横断敷や腕章、笛などを贈られ今年々強化される私たちの活動が社会への呼びかけの一助となり、安全施設の充実にも力を注いでいたできるよう祈り

・生活指導研究会の推進  
・毎月一回部員の自主的な街頭指導  
・アンケートによる意見の集約と実態調査  
・各地域での生活指導  
・危険な遊び場および遊びの実態調査  
・生活指導上の問題点について討議  
・少年団の常時活動の推進  
・道路掃除、球技練習その他少年団の自主的活動の指導  
・援助

第一の物的な面は市行政のなかでその大部分は取り上げてもらう必要があり積極的な働きかけが大切であると思われま





### 町内育友会に思う

#### 幸せな三小の子供達

「お母さん、これ町内の廃品回収まで、取っかけてよ。」納戸の狭さをなげく母親に、念を押して、古雑誌をつみ上げてくれる子供は、はや、夏のたのしい町内育友会リクリエーションを夢見ている様です。

私は、幼い頃、近所の子供達そらって、町内のおちさん、おばさん方に、山や海につれて行っていただいていたのしかたという思い出を持ちません。育った土地柄のせいでしょうか。それにしても島原の、それも三小の子供達は、ほんとに幸せです。

先日、第一回町内育友会に今年度の行事予定について、みんなで熱心に計画し、準備が始められました。我が子、よその子の区別なく、町内の子供一人一人を、母親の暖い眼で、登下校の安全を守り、朝の清掃に協力する育友会の皆さん方。この様な環境の中に、子供達は、すこやかに大きく伸びていくことでしょう。

ただ一つ改めたいことがあります。それは、町内育友会の「原時間」です。かく申す私も、まことに恥じながら、「どうぞせ早目に行っても待たされる。」と思ってしまう一人です。でも、皆さんの協力で是非定刻に始めたいとお思ひになりますか。



### 新しい先生の紹介

伊藤先生  
(対馬 舟志小より)  
三年一組担任

森本先生  
(一小より)  
三年三組担任

橋本先生  
(四小より)  
二年三組担任

松本先生  
(四小より)  
二年一組担任

小川先生  
(三小小より)  
三年五組担任

山中先生  
(五小より)  
五年五組担任

### 新一年生を思う

山本幸子



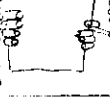
喜びと、不安の中で迎えた入学式から早くも二ヶ月余りが過ぎてしまいました。長男を七つ行きで学校に上げると、言う事が不安で、自分の名前をやつと書ける程度で学校へやる、と言う事が不安で、あと二十日もおそく生れていれば一年遅れてある程度、字も覚えて余裕をもって学校へあげられたら、と思うと子供が不憫でなりません。でも「親の心子知らず」で喜んで毎日学校へ行っているのを見ると、一まず安心致して居ります。学校へ上がる前は、夜は私達が起きていたけれど、何時までも起きていたけれど、学校へ行くと自分から寝るし、目覚まし時計を六時四十分にかけておいてやるとその時間には、ちゃんと起きて来るし、良い習慣がついたなあと思っております。子供もだいぶ緊張しているのでも、中一ある日、間違えて夜中に目覚しが鳴ってしまいました。すると、子供達の袋をもらって来た日、長男は自分の貯金箱から金をとり出して袋に入れて居りました。「子供銀行はね、おこずかいたためといつて持って行くのが本当ですよ。」と言うと、長男は納得したのでしよう。袋をもらって来て、私には「お金もちょうだい。」と言っています。自分の貯金箱から出して持って行っています。私はこれはずっと続けるつもりです。

### 授業参観に思う

宮崎 良一

入学して間もない最初の参観日に出席して今まで高学年の方に行っていたのですが、いつもきまつた方ばかりでした。今年、女の子が一年に入学したのですが入学式の時は喜びと緊張のためか帰ると消息しなかった。内気な方なのではないかしらと不安な気持ちで出席しました。父兄の方の気持ちも同じです。皆、父兄の方の参観日には出席して、教室には入れない位沢山の参観生を見ても親たたくづく感傷しました。又、遊んでいる様子を見てもほがらかに肩をたたくきあってる姿は、もう集団生活にもなれ自信がでる学校を楽しんでいる様子の方がおなれました。これも先生方のなみなみならず、御心労のたまものと頭の下がる思いが致しました。今年から教科書もかわり学力も向上し字を教えるにしても前は型さえ出来ていればよかったのですが、今は、はねる所、とめる所を正しくきびしく教えてくださっている様子を見ても親たたくづく感傷しました。又、家の子供はできないからと恥ぢないで多くの人が気軽な気持ちで出席し、いろいろな家庭で話し合える楽しさを持ち、それぞれ、家庭教育に結びつけ、この熱心さを盛り上げていきたいものです。

### 編集後記



青少年活動の一端を受け持つ「がんば」の一号を発行するに当たって部員一同心構え新しくスタートしましたが、皆様方の期事をお詫び致します。いろいろ待たされたことと御協力、御投稿下さいました皆様方の御厚意に御礼申し上げます。次は研修旅行について寄稿をお願いいたしますので、ご意見、ご感想などお待ちしております。

